



困ったときはここに相談 Vol.17

市消費生活センター

問い合わせ 市消費生活センター ☎573236 地域振興課 ☎592131

あなたにも事故は起こる？ ～リビング・ペット編～

身近な製品の誤った使い方や不注意で起こる事故について紹介しています。何気なく使っている製品にも危険が潜んでいることを今一度思い出してみましょう。

製品	事例	なぜ？	チェック！
アロマキャンドル	住宅から出火して一部を焼き、二人が煙を吸い込んで軽傷を負った。	ろうそくの火を消し忘れたため、寝具に燃え移り出火したものです。	ろうそくのそばを離れる時や寝る時は、必ず火を消してください。使用時には、ろうそくの周辺に燃えやすいものがないか確認してください。消火時には、確実に火が消えているか確認してください。
乾電池	ラジオに乾電池を入れて使用していたら、「バーン」という音とともに乾電池が飛び出して1本が破裂、周辺に黒い油のようなものが飛び散った。	単三アルカリ乾電池4本のうち1本が逆向きに装てんされたために過充電となって発熱し、乾電池内部で発生したガスにより破裂したものです。	電池を交換するときは電池の＋を確認して正しく装てんしてください。電解液には強アルカリ液が使用されているので、直接触れないように注意して下さい。化学やけどをおこす可能性があります。乾電池は新しいものと古いものを混ぜて使用しないでください。古い乾電池が過放電状態となって液漏れが起きます。
水槽	冬休み期間中に、木造2階建て学校の教室から出火し、壁と床部分の一部を焼いた。	長期不在のため、水槽の水がヒーター熱により徐々に蒸発して減り、水面がヒーターの取り付け位置より下がったために過熱し、発煙・発火に至ったものです。	水の少ないところや少ない状態で、水槽用ヒーターや水槽用フィルター（ヒーターを内蔵したもの）を使用しないでください。また、トラッキング現象（※）による事故も発生していますので、電源部分が水のかからない場所に設置してください。
ライター	未使用のライターを天窓下の机の上に置いていたら、バラバラに壊れた。	天窓下に放置していたため、直射日光で過熱されて内圧が上昇し破裂したものです。	ライターは直射日光のあたる場所や高温になる場所に放置しないでください。また、子どもの手の届くところには置かないなど、保管場所には気をつけてください。
犬	室内で放し飼いにしている犬の鳴き声に気づき確認したら、マルチタップが焼損してさすがに充満した。	タップ部に犬の尿が掛かって内部に侵入したため、絶縁性能が劣化し、トラッキング現象（※）が発生したものです。	ペットによる思わぬ事故です。飼い主の目の届かないところで電気製品に尿をかけた時、コード類を噛んだり、電気ストーブに飛び乗って電源が入り事故になったケースもあります。外出時は、出火の可能性のある電気製品にペットが近づけないようにし、電源コードはコンセントから抜いてください。また、電気ストーブのようにチャイルドロックがあるものは設定するなど注意してください。
ハムスター	ハムスターを飼っている集合住宅の一室から出火して全焼した。	ハムスターが延長コードを噛んで被覆を損傷させたため、スパークし、出火に至ったものです。	

独立行政法人 製品評価技術基盤機構（NITE）発行：「身・守りハンドブック2010」より抜粋

※ **トラッキング現象**
テーブルタップやコンセントに電源プラグを長期間差し込んだままにしていると、コンセントとプラグの周辺にほこりがたまります。そこに水滴や湿気が加わるとプラグの刃と刃の間に電気が流れて火花放電を繰り返します。そうすると、その部分が炭化し、電気が通るようになるため、発火する現象です。

司法書士無料相談会

相談日 毎月第4火曜日（今月は10月23日）
13時～16時

※ 相談希望の方は、事前に地域振興課へ電話で予約してください。また、市消費生活相談員が同席しますので、ご了承ください。



第五次大竹市総合計画

重点取組方向 No.1

問い合わせ

企画財政課 ☎592125

前期基本計画（計画年次…平成23年度～平成27年度）は、「わがまちプラン」に沿ってよいまちを実現するために、どのような取り組みをしていくのが、より具体的に書かれた計画です。この計画には、大竹市が、どのようなことに特に力を入れて取り組むのかを示した、重点取組方向が4点決められています。

重点取組方向の考え方と、この方向をもっと具体的にした重点取組施策を、1つずつ紹介していきます。



①推進力としての重点取組方向 大竹を愛する人づくり

「大竹を愛する人のエネルギーがよいまちづくりの推進力になる」という視点からの重点取組方向です。

特に、地域を愛し、将来にわたって大竹を担ってくれる人を積極的に育てていきたいと考えています。

どのような事業においても「大竹を愛する人づくり」という視点で展開していきます。

重点取組施策	施策の方向性
地域を担う人づくり	<p>このような「大竹を愛する人づくり」を目標としています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○人が成長する過程の全てにおいて、大竹のことを理解し、地域を愛します。 ○高度成長期に台頭してきた個人主義的な考え方の限界を考えます。 ○地域のつながりの大切さを学び、地域に住んでいる人同士が助け合います。 <p>まちづくりにおける推進力となる「大竹を愛する人」をたくさん育てる方向で、施策を展開します。</p>

第19回 市民文化講演会



問い合わせ 生涯学習課 ☎5800

チケットは総合市民会館で販売していますが、残りわずかなので、早めにお求めください。1回目から受講している方は、チケットを無くさないように注意してください。チケットの予約、払い戻しはできません。当日は要約筆記、手話を行います。また、託児もあります。（要予約）

とき 10月17日(水)

19時～20時30分

ところ アゼリアホール

講師 勝間和代さん（経済評論家）
テーマ やればできる～あなたを変える4つの力～

受講料 1,000円



勝間和代さん

講師プロフィール
勝間和代（経済評論家）

1968年東京生まれ。経済評論家、中央大学ビジネススクール客員教授。早稲田大学ファイナンスMBA、慶応大学商学部卒業。当時最年少の19歳で会計士補の資格を取得、大学在学中から監査法人に勤務。アーサー・アンダーセン、マッキンゼー、JPMorganを経て独立。現在、株式会社監査と分析取締役、内閣府男女共同参画会議議員、国土交通省社会資本整備審議会委員、中央大学ビジネススクール客員教授として活躍中。ウォール・ストリート・ジャーナル「世界の最も注目すべき女性50人」選出、エイボン女性大賞（史上最年少）、第一回ベストマザー賞（経済部門）受賞。世界経済フォーラム、少子化問題、若者の雇用問題、ワークライフバランス、ITを活用した個人の生産性向上、など、幅広い分野で発言しており、ネットリテラシーの高い若年層を中心に高い支持を受けている。